

The background of the entire page is a light gray gradient with several realistic water droplets of various sizes scattered across it. The droplets have highlights and shadows, giving them a three-dimensional appearance.

2019

日本学生スプリントトライアスロン選手権
トライアスロン・チームタイムトライアル選手権大会

競技説明会

目次

1.大会当日スケジュール

2.スイム競技

3.トランジション

4.乗降車ライン

5.バイク競技

6.ラン競技

7.ペナルティ

8.ペナルティボックス

9.その他注意事項

10.コース図

11.オフィシャル

12.プロテスト

1、大会当日スケジュール

時間	実施事項	実施場所
6:00~ 7:00	選手最終登録	大会本部
6:30~ 7:45	トランジション一次オープン 全選手バイク搬入	大会本部横
6:30~ 7:45	ストックホイール 受付	バイクコース上
7:00	開会式・競技説明会	大会本部
7:30~ 7:55	男子オープン入水チェック	スイムエリア
8:00	男子オープンスタート	スイムエリア

時間	実施事項	実施場所
8:55~ 9:15	女子選手権・女子オープン 入水チェック	スイムエリア
9:20	女子選手権・女子オープン スタート	スイムエリア
9:50~ 10:15	男子選手権入水チェック	スイムエリア
10:20	男子選手権スタート	スイムエリア
11:20~ 11:45	女子チームTT(選手権・オープン) 入水チェック	スイムエリア
11:50	女子チームTT(選手権・オープン) スタート	スイムエリア

時間	実施事項	実施場所
12:40~ 13:05	男子チームTT(選手権・オープン) 入水チェック	スイムエリア
13:10	チームTT選手権の部スタート	スイムエリア
13:12	チームTTオープンの部 第1ウェーブスタート	スイムエリア
13:14	チームTTオープンの部 第2ウェーブスタート	スイムエリア
15:00	表彰式	スイムエリア

2. スイム競技

- 水温に関わらず
ウェットスーツの**着用を義務**とする。

- 入水チェックは**指定された時間のみ可能**

男子オープン **7:30~7:55**

女子選手権・オープン **8:55~9:15**

男子選手権 **9:50~10:15**

女子チームTT **11:20~11:45**

男子チームTT **12:40~13:05**

※入水チェックに

遅れた選手・行わなかった選手は失格とする

※一度、入水チェックを行った選手は
スイム会場から

スイム終了まで出ることはできない

3. トランジッション

- ・ トランジッションの開放の時間は

1回目 6:30~7:45

2回目 11:20~11:35

3回目 12:15~12:25

※バイクの搬入は

一回目のトランジッションオープン時のみ
とする。

バイクを搬入する際、

必ず**ヘルメットのストラップ**をすること。

※トランジッションエリア**クローズ時間以降**の
エリア内での**設営を一切認めない**。

クローズ時間に**遅れてきた選手**、

クローズ後に**設営している選手**を**失格**とする。

- ヘルメットのストラップは
ラックからバイクを**取出す前に**しっかりと絞める
こと。

バイクフィニッシュ後は、
バイクを**ラックに掛けた後に**ストラップを
外すこと。

→違反者は**ペナルティの対象**

- バイクをラックにかけるときは、
ラックナンバーが手前に見える向きのサドル掛けとする。

なお、**バイク終了後もスタート時と同じ向き**でかけなければならない。

→違反者は**ペナルティ**の対象

- ・ 競技備品の搬入、回収は原則**選手本人**が行い、**レースナンバー提示をしなければならない。**
- ・ 救護等の理由で選手本人が回収が出来ない場合**代理での回収**を認める。
その際、**当該選手のレースナンバー**の提示を行う。

・ 出入口では

レースナンバー

(バイク・ヘルメット・ゼッケン)

の確認を大会スタッフが行う。

4.乗降車ライン

- 乗車時はラインを
足が1歩以上超えてから乗車し、
降車時はラインの手前で
足を1歩以上ついてから降車すること。

違反者は
ペナルティの対象とする。

5. バイク競技

- 今大会では男子選手権、チームTTのみ、**ドラフティング**を許可する。
- 男子選手権、チームTTでは**クリップオーバー装着を禁止**する。

- 女子個人選手権、男子/女子個人オープンでは、**ドラフティングを禁止する。**
- 女子個人選手権、男子/女子個人オープンでは**クリップオーバー装着を許可**する。

- 後部が尖った形状のタイムトライアル(TT)用ヘルメットの着用を禁止とする。
- ヘルメットは、
顎にしっかりとフィットしているもの
以外認めない。

- ドラフティング走行を行う場合、**ブレーキに手がかかる姿勢**で行うことを推奨。
- **キープレフト**を厳守し、
追い越す際には後方を確認してから
右側から追い越すこと。
- エンドキャップが外れている場合は**テープ等**で
しっかりとふさぐこと。

6.ラン競技

- **キープレフト**を厳守すること。
- 応援関係者及び他の選手による、競技者の**伴走**は認めない。
- **意図的な同着**は認めない。
- 一度フィニッシュした選手が**再度コース内に入る**ことはできない。

8.ペナルティー

- JIU競技規則及びローカルルールに違反する行為に対してはペナルティーを与える。

競技中に適用を受けなかった場合でも、レース後に違反行為が認められた場合はペナルティーを与えることがある。

- ペナルティーはタイムペナルティー(TP)ルールがその時の状況により、審判長により適用される。

7.ペナルティーボックス

- ペナルティーを受けた選手は
ペナルティーボックスに入り、
与えられた**TPを消化しなければならない。**
- **消化せずにフィニッシュした場合は失格とする。**
テクニカルオフィシャルによる**誘導等を行わない。**

- ・ **レースナンバーをボックス付近に提示することにより対象者への通知とする。**

番号の掲示が1周目で間に合わないこともあるので、**必ず2周目も確認すること。**

- ・ ペナルティーボックスに入るのは、**どの周回でもよい。**

9.その他注意事項

- ・ ナンバリングは

両腕、両足の計4箇所

に行ってください。

- ・ ナンバーカードは

前後 2枚

着用してください。

- 脱水症や熱中症予防のため
水分補給を心がけること。
- リタイヤする場合は、
必ずTOに申し出て、
TOに**アンクルバンドを返却**すること。
- バイク競技中リタイアした場合、
バイクに**乗らずに押して**会場まで帰ること。

- ・フィニッシュ後、

上半身裸になる等の行為をやめること。

→一般の方々の迷惑になるため。

- ・アナウンス後、

バイクのピックアップを迅速にお願いします。

～ストックホイールについて①～

- ・ディスクブレーキ及びディスクバイク用ホイールの使用を許可。

出場選手**1～19人時**の

ストックホイールを前後輪**1組**とし、

そこから**10名増えるごとに1組追加**していく。

～ストックホイールについて②～

例) リムホイール、ディスクバイク用ホイールを使用する場合

- ・ 出場選手が各大学**1~19名**の場合、
リムホイール**1組**、ディスクバイク用ホイール **1組**、
計**2組**

～ストックホイールについて③～

- ・ストックホイールの受付時間は、

6:30～7:45

です。

- ・**現地に直接搬入してください。**

※この時間以外の受付は**認めません。**

- 写真撮影を希望される方は**メディア受付**を大会受付で行い、大会中はメディアカードを**首からかけて**撮影をすること。

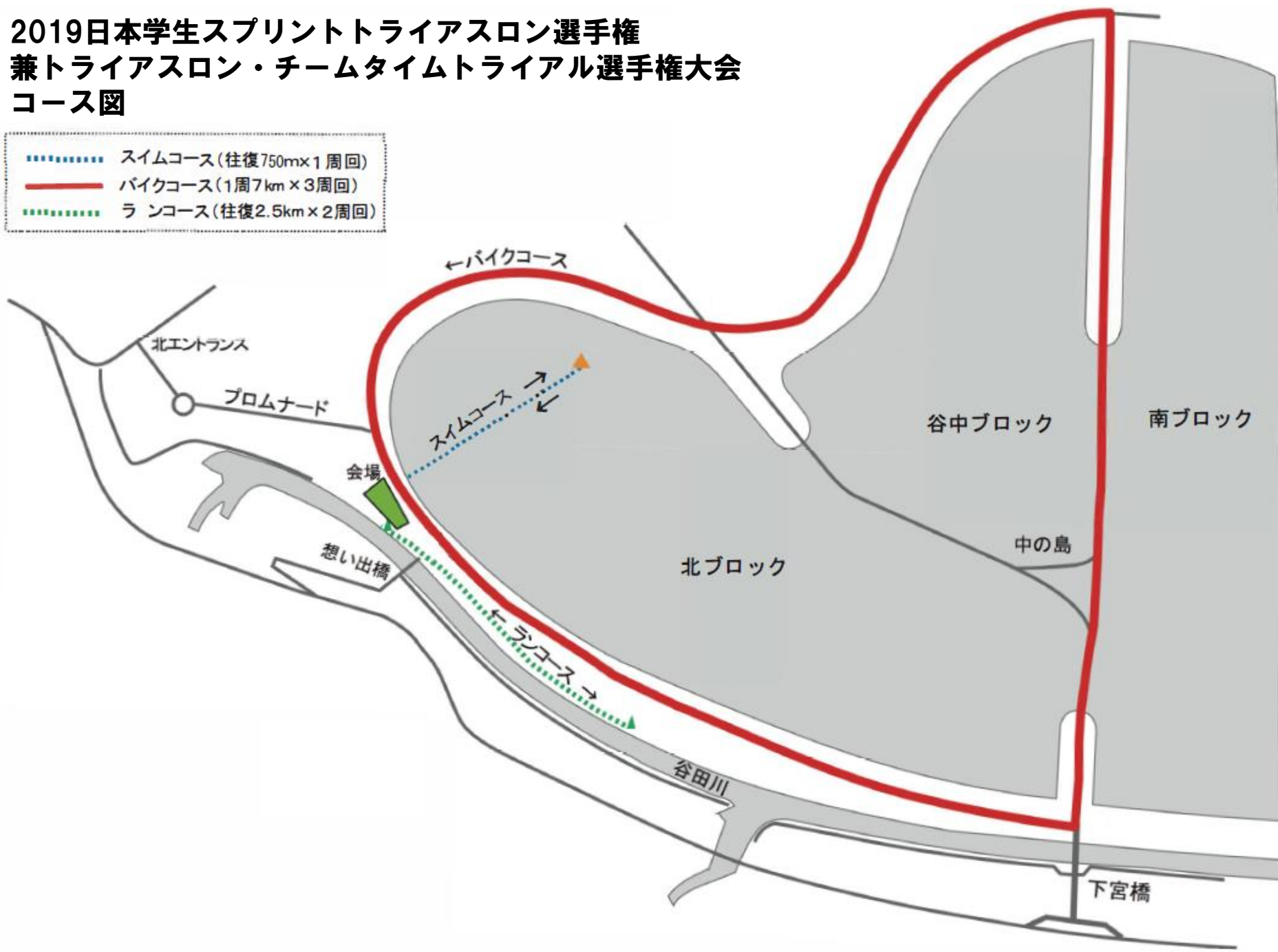
撮影終了後には、**メディアカードを必ず返却すること。**

- トランジッションエリアの撮影は一切禁止する。
- TOに対する**暴言・暴行**は行わないこと。
- **マナーをもった応援を行うこと。**

10.コース図

2019日本学生スプリントトライアスロン選手権 兼トライアスロン・チームタイムトライアル選手権大会 コース図

- スイムコース(往復750m×1周回)
- バイクコース(1周7km×3周回)
- ランコース(往復2.5km×2周回)



11. オフィシャル

- オフィシャルは本大会競技規則にそって大会を運営する義務がある。
- 審議委員会は日本学生トライアスロン連合の浦上壮太郎、深谷佳亮、目高龍太郎によって組織される

12. プロテスト

- 審判長の判定、その他のことに関して不服がある場合は、抗議をすることが出来る。
- ただし、以下に関することは抗議を受け入れない。
 - ① **ドラフティング**
 - ② **ブロッキング**
 - ③ **暴言などスポーツマン精神に反するもの**
- 抗議がある場合は、審議委員会に対して行う。

ご健闘をお祈りしています！